

平成30年

12月定例会

スカイテルメ洪川・ユートピア赤城を民間へ売却 市民会館改修事業、補正予算で強化

あらまし

平成30年12月定例会は、11月29日から12月12日までの14日間の日程で開催されました。人事案件1件、指定管理者の指定1件、条例の一部改正6件、条例の廃止5件、市道の廃止・認定、字区域の変更の3件、市民会館改修事業などの補正予算7件、議員提出議案1件、請願・陳情3件が各常任委員会に付託されました（一部を除く）。慎重審議の結果、議案についてはすべて原案のとおり可決しました。請願は1件を採択、2件を不採択としました。

洪川市議会委員会条例の一部を改正する条例

議員提出議案として、議員定数を18人に改定したことに伴い、総務市民、経済建設、教育福祉の3常任委員会を6人、予算常任委員会を17人、議会運営委員会を6人の定数に改める議案が提出されました。全員一致で可決しました。

市道の廃止・認定

高崎洪川線バイパス道路、上信自動車道道路整備等に伴う市道の付け替えなどにより、4路線を廃止し、5路線を認定するものです。全員一致で可決しました。

赤城西麓上狩野土地改良事業に伴う字区域の変更

地区内の土地の区画、形状を改めたことにより字区域を変更するものです。全員一致で可決しました。

人権擁護委員の推薦

人権擁護委員の候補者として、宇木京子氏（伊香保町）を推薦するものです。全員一致で同意しました。

洪川スカイランドパーク遊園地の指定管理者を指定

洪川市公共施設管理公社を指定管理者として指定するものです。全員一致で可決しました。

温泉施設の譲渡、民営化による条例の廃止

赤城総合福祉センター、スカイテルメ洪川、赤城の湯ふれあいの家、洪川温泉スタンド及び敷島温泉スタンドを譲渡し民営化するため、条例を廃止するものです。すべて多数決で可決しました。

補正予算

平成30年度一般会計補正予算は、歳入、歳出それぞれ9億3340万円を追加して、総額375億6749万円とするものです。主なものは消防施設維持管理事業、小中学校等空調



民営化される温泉施設

正予算については、すべて原案のとおり全員一致で可決しました。

請願・陳情

「歯周疾患検診の拡充に関する請願」は、全員一致で採択し、市長に送付し結果の報告を求めることになりました。

機器整備事業、学校施設緊急対策事業、危険なブロック塀の撤去・改修費、市民会館改修にかかわる事業です。原案のとおり多数決で可決しました。

介護保険特別会計をはじめとする5件の特別会計補

正の提出を求める意見書の賛成少数で不採択となりました。

常任委員会の審査

総務市民

進学準備給付金加わる

生活保護法の改正により「渋川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例」に、新たに「進学準備給付金」を加えるものです。全会一致で可決しました。

質疑 進学準備給付金の金額と、対象者は。

答弁 生活保護世帯の大学等への進学者に対して、一人暮らしは30万円、自宅通学者には10万円支給されま

入院時の食事代の助成についての改正

重度心身障害者または高齢重度障害者の入院時の食

事代の助成について、所得制限を設けるものです。住民税非課税世帯にのみ交付される標準負担額減額認定証の提示がないと食事代が無料になりません。多数決で可決しました。

質疑 今までですべて無料だったものがなぜ方向転換したのか。

答弁 入院と在宅での食事代の助成の仕方で不公平が指摘され、県で見直しされたためです。

人事院勧告に伴う改正

人事院勧告に伴い、職員、市長、議員の報酬、給料等を改正するものです。原案のとおり可決しました。

質疑 市民生活が大変なときだが、どのような認識なのか。

答弁 民間給与に準じての勧告で、本市においても改正を行っていません。改めて、

市民のために職務を進めていきます。

経済建設

市道の廃止と認定について

高崎渋川線バイパス道路、上信自動車道道路整備に伴う市道の付け替えによる廃止と認定で、全会一致で可決しました。

書類の表記の仕方についての質疑があり、今後は混乱のないように図面を作成しますとの答弁がありました。

字区域の変更について

県営赤城西麓上狩野土地改良事業の地区内の土地区画及び形状を改めたことにより、字区域を変更するものです。全会一致で可決しました。

渋川スカイランドパーク遊園地の指定管理について

平成31年4月1日から5年契約で、渋川市公共施設管理公社が指定管理者に指定され、管理を行います。

質疑 応募は1業者か。

答弁 公募をしたが1業者でした。

質疑 民間譲渡の考えは。

答弁 都市公園としての位置づけがあるため地方公共団体でなければなりません。

温泉施設の条例の廃止

赤城総合福祉センター、スカイテルメ渋川、赤城の湯ふれあいの家、渋川温泉スタンド及び敷島温泉スタンドを譲渡し民営化するため条例を廃止するものです。全会一致で可決しました。

質疑 源泉の権利は。

答弁 一括譲渡されます。

経済建設常任委員会協議会

①旧伊香保行政センター跡地駐車場整備(案)について

②第2次渋川市中心市街地活性化プラン(案)について
以上2件について報告がありました。

教育福祉

歯周疾患検診の拡充に関する請願
全会一致で採択しました。

教育福祉常任委員会協議会

史跡瀧沢石器時代遺跡を現地調査しました。

①史跡瀧沢石器時代遺跡整備基本計画(案)について

②平成31年度整備分地域密着型サービス事業者の公募について

③渋川市地域福祉計画中間見直し(案)について
以上3件について報告を受け、協議しました。



渋川スカイランドパーク

予算

平成30年度一般会計補正予算については、2議案とも原案のとおり賛成多数で可決しました。特別会計については、すべて全会一致で可決しました。

学校施設緊急対策事業（中学校）

質疑 債務負担行為補正で、中学校とあるが、内容について具体的に説明を。

答弁 来年プール解体予定の洪川中、伊香保中、赤城南中の設計経費のうち、前払金として30%を補正予算措置しました。これを除いた金額と解体工事費をあわせた金額です。

危険ブロック塀緊急対策事業について

質疑 民間の危険ブロック塀の補助金300万円とあるが、件数と1件当たりの補助金額については。

答弁 予定件数はブロック塀の除却が25件、改修は15

件、1件当たり約9万円の補助金額となります。

市民会館改修費を6億2257万3000円増額

質疑 契約金額の30%を超える増額変更はできないはず。今回の変更はおかしいのではないか。

答弁 国のガイドラインでは、原則別途契約としているが、一体施工の必要性から分離発注ができないものについては、対応できません。
質疑 補正予算額の根拠は。
答弁 業者見積もりで算出しています。



改修中の市民会館

討論

賛成

12月定例会では議案等12件について、討論が行われました。主な討論の概要を報告します。
討論とは、議案等を議決するために賛成・反対の意見を述べることを言います。

「平成30年度洪川市一般会計補正予算（第5号）」について

賛成

洪川市民会館の耐震補強工事とあわせた施設の改修工事にあたり、市民や利用団体の意見を可能な限り取り入れ、機能的で利便性の高い施設とするため、追加工事を行うものである。当初予算に対して補正予算が38・6%を超えることや、事前調査の不備など多くの問題を含んでいるが、13カ月の休館期間内で工事を終了させること、市民の声をしっかりと反映した形で設計がなされたことを考慮し、速やかに事業が展開され、市民福祉の向上や地域振興が図られるよう要望し、賛成討論とする。

反対

市民や利用団体の意見を取り入れ、劣化箇所や不具合が生じる恐れのある機器や設備について更新や設備改修に異議を唱えるものではない。予算の付け方あり方がおかしい。6億2000万円もの増額で総額22億3000万円である。当初設計の38・6%も増加している。増額工事の見積もりは業者任せ、価格の公正性が見積もりの根拠はどこにあるのか全く見えない。増額を誰が認めたのか答えもない。工期延長もしないで完成できるのか疑問であることから、反対とする。

議員全員協議会の ありまし

11月30日、議員全員協議会が、次の内容で開催されました。

新市建設計画変更方針について

合併特例事業債の起債期間が平成37年度までに5年間延長されたことを受け、特例債を効果的、計画的に活用し、第2次洪川市総合計画との整合性を保ちながら新市建設計画を変更するものとの説明がありました。

洪川市民会館耐震補強及び改修に係る追加工事の概要について

追加工事は、市民や利用団体の意見を可能な限り取り入れることで、機能的で使いやすい、より利便性の高い施設にすることを目的とし、工事の開始に伴い現場を詳細に確認、劣化箇所や不具合の機器の更新や設備改修を行うものとの説明がありました。